



日の釣りは終了！
最後に……

九州南部が梅雨入りすると、前

線や低気圧の影響で海上はウネリが発生することが多くなります。釣行時は決して無理をせず、安全な磯を選んで釣りを楽しんで下さい。

また、写真のようなクロやイサキの数釣りも楽しめるいい時期でもあるので、雨や暑さに負けずに釣りに行って楽しんでもらえれば幸いです！



て、『今日はサバ祭りか!』と期待したのですが、結果から言うとサバはこの1尾だけで、祭りは『イサキ祭り』でした。

一方の下田氏は、足元のサラシの先端付近をじつくり攻めて30センチ前後のク口を釣っていますが、良型のオナガラしきアタリに何度かヤラれているようです。「ア〜アもったいない」。

態。すごい光景です。後で船長に聞くと、ハガツオが相当入っていたようです。それでサバが寄らなかつたのだと納得しました。

サバが釣れた後、何投かしましたがツケエが残って返って来ます。潮が少し速くなったようなので、タナ調整用オモリを3号から2号に上げて流しますが、ツケエはそのまま……。

でも潮はいい感じで本流が流れているので、マキエは上げ本流の潮目付近に多めに撒いて亀を沖に誘導するような感じで打ち続け、魚には足元付近のマキエを喰わずすうな感覚。

地グロヒット！

サバを釣ってから1時間。ツケ
工が付いたまま返って来るので、
流す距離をどんどん伸ばして行っ
てみると、足元からの潮と湾から
本流への引かれ潮が合流し糸の出
が速くなる所があり、そこを丁寧
に攻めていると、穂先をゆつくり
引っ張っていくアタリが！ デカ

い地グロ（**口**太グロ）です。やや強引に寄せてサラシでのタモ入れ。磯の先端部を左に回して高台からタモ入れしてもいいのですが、張り根があるため、サラシ場で背後からのウネえりを気にしながら一登で掬います。



この時、あらかじめタモを伸ばしてサラシが盛り上がった時にすくうために海面までの高さを測っておくと取り込みが安心して行えます。タモ入れの基本です。出来れば同行の釣り人に拘ってもらっ

その後はイサキ祭りで、下田氏と交互に竿が曲がりました。小型のウリ坊サイズから40センチまで、久し振りの入れ喰いを堪能し、この

